

高等学校 令和8年度（1学年用）教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：

使用教科書：第一学習社「高等学校 現代の国語」

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方・考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	<p>〈ものの見方〉〈自己と他者〉</p> <p>【知識及び技能】 常用漢字、語句、例示など修辭 【思考力、判断力、表現力等】 文章構成、論理展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿ってまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きもの」として生きる ・「本当の自分」幻想 		○	○	<p>【知識及び技能】 漢字を文中で活用する。語彙を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>〈表現・話して伝える力〉</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉・書き言葉の特徴 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣い 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方の工夫 ・接遇表現 ・論理的な表現 ・情報の探索と選択 ・情報源の明示 	○			<p>【知識及び技能】 話し言葉・書き言葉の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 伝わりやすい表現を考え、説明や発表をしようとする。</p>	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	<p>〈比較文化〉〈言語〉</p> <p>【知識及び技能】 効果的な文の接続の仕方 【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報を対比させた読解 【学びに向かう力、人間性等】 個別の情報を一般化する論理について考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水の東西 ・ものとことば 		○	○	<p>【知識及び技能】 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を相互に関係づけて内容を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を一般化し自分の考えをもち、まとめようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>〈表現・話して伝える力〉</p> <p>【知識及び技能】 伝える内容の選択と吟味 【思考力、判断力、表現力等】 わかりやすい伝え方の理解 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組み、効果的に話そうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチで自分を伝える ・相手に伝わる案内をする ・プレゼンテーションをする ・合意形成のための話し合いを行う 	○			<p>【知識及び技能】 伝えようとする事柄について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 聞き手にわかりやすく伝える方法を理解し実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現や話し方を工夫し、効果的に話そうとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査						○	○		1	
2 学 期	<p>〈日本文化〉〈科学技術〉</p> <p>【知識及び技能】 読書の意義と効用の理解 【思考力、判断力、表現力等】 考えと根拠の的確な伝達 【学びに向かう力、人間性等】 個別の現象の具体的な検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無彩色の色 ・「文化」としての科学 	○		○	<p>【知識及び技能】 読書に親しみ、その意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えをもとめ、根拠の示し方を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 例示された現象を具体的に検証し筆者の考えとの関係を説明しようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>〈表現・書いて伝える力〉</p> <p>【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解 【思考力、判断力、表現力等】 的確に説明する方法の理解 【学びに向かう力、人間性等】 批評し合い、表現の工夫を身に付ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き方の基礎 ・身近なものの取扱説明書を作成する ・実用的な手紙文の書き方 		○		<p>【知識及び技能】 表記・表現、接続、比喩などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を的確に伝えようと表現の仕方を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成や展開に役立てようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
<p>〈情報・メディア〉〈社会・政治〉</p> <p>【知識及び技能】 主張と論拠の関係の把握 【思考力、判断力、表現力等】 論理展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】 説明の仕方を考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の「世論操作」 ・フェアな競争 	○		○	<p>【知識及び技能】 主張と論拠、個別と一般化などの関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 論理展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿ってまとめ、現代社会の課題を把握し、説明しようとしている。</p>	○	○	○	7	

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書： 第一学習社「言語文化」【言文713】

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方・考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	〈古文入門〉 【知識及び技能】 歴史的仮名遣い、古今異義語 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開の把握 【学びに向かう力、人間性等】 調べたり説明したりする態度	・古文の学習 ・児のそら寝（宇治拾遺物語） ・絵仏師良秀（宇治拾遺物語） ・なよ竹のかぐや姫（竹取物語）	【知識及び技能】 歴史的仮名遣いや古今異義語など文語のまじりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しを持って調べたり説明したりしようとしている。	○	○	○	7
	〈小説〉 【知識及び技能】 小説の基本的な読解方法の習得 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の性格・心理・行動の理解 【学びに向かう力、人間性等】 内容や展開を粘り強く読み解く	・羅生門 （「現代の国語」教科書使用）	【知識及び技能】 小説の基本的な読解方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 【主体的に学習に取り組む態度】 登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	〈歌物語〉 【知識及び技能】 語彙の習得、動詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語の特徴や内容の理解 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える	・芥川（伊勢物語） ・東下り（伊勢物語） ・筒井筒（伊勢物語）	【知識及び技能】 動詞の活用について、文語のまじりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方・考え方を捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	7
	〈近現代の詩歌〉 【思考力、判断力、表現力等】 現代詩の鑑賞の仕方の理解 詩独特の表現方法の理解 情景や象徴的な表現の理解 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、詩のリズムを理解する	・薨のうへ ・一つのメルヘン ・自分の感受性くらい	【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方・考え方を捉え、内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し音読し、詩のリズムを理解しようとしている。 進んで作者の心情について話し合おうとしている。	○	○		7
	定期考査			○	○		1
	〈随筆〉 【知識及び技能】 文化的背景の理解、形容詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開の理解 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈する	・春は、あけぼの（枕草子） ・はしたなきもの（枕草子） ・丹波に出雲といふ所あり（徒然草）	【知識及び技能】 文化的背景について理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開について叙述を基に的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に解釈しようとしている。	○	○	○	7
	〈漢文入門〉 【知識及び技能】 返り点、助字、再読文字 【思考力、判断力、表現力等】 語彙を習得し解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 わかった内容を工夫してまとめる	・漢文の学習 ・訓読に親しむ ・漢文を読むために	【知識及び技能】 漢文を訓読するために必要な返り点の種類と使い方などを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語や格言に触れ、語彙を豊かにし、内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	7

2 学 期	定期考査			○	○	1
	〈日記〉 【知識及び技能】 古典特有の表現の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方・感じ方を踏まえた内容の理解 【学びに向かう力、人間性等】 執筆意図などについて検討する	・門出（土佐日記） ・亡児（土佐日記） ・帰京（土佐日記）	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れたもの見方・感じ方・考え方を捉え解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 虚構性の高い日記の執筆意図について考えたり発表したりしようとしている。	○	○	7
	〈故事成語〉 【知識及び技能】 訓読に慣れ使いこなす 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開の理解 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来と意味を調べまとめる	・漁夫の利（戦国策） ・狐借虎威（戦国策） ・蛇足（戦国策）	【知識及び技能】 漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開について叙述を基に的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 故事成語の由来となった話を読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	7
定期考査			○	○	1	
3 学 期	〈古典の詩歌〉 【知識及び技能】 枕詞、序詞などの技法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方・感じ方を踏まえた内容の理解 【学びに向かう力、人間性等】 情景や心情を読み取り和歌を鑑賞す 定期考査	・万葉集 ・古今和歌集 ・新古今和歌集	【知識及び技能】 枕詞、序詞などの和歌の修辞法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れたもの見方・感じ方・考え方を捉え、解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を	○	○	9
	定期考査			○	○	1
						合計 70

教科： 0 科目： 文学国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社「高等学校 文学国語」）

教科 0

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方、考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。同時に、我が国の言語や文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 近代の小説1 【知識及び技能】 語句の意味、作者についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 文体の特徴を意識して朗読する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く文体の特徴を把握して朗読する。	・小説「山月記」 ・観察・ワークシート・発表（暗唱） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 語句の意味、作者についての理解している。 【思考・判断・表現】 文体の特徴を意識して朗読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文体の特徴を意識して朗読しようとしている。	○	○	○	8
	単元 近代の小説1 【知識及び技能】 語句の意味、作者についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 文体の特徴を意識して朗読する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く文体の特徴を把握して朗読する。	・小説「山月記」 ・観察・ワークシート・発表（暗唱） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 語句の意味、作者についての理解している。 【思考・判断・表現】 文体の特徴を意識して朗読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文体の特徴を意識して朗読しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元 随想 【知識及び技能】 言葉の意味の働きと理解 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して自分のもの見方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 根拠を持って発表しようとしている。	・随想「真珠の耳飾りの少女」 ・観察・ワークシート・発表 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 言葉の意味と働きの理解している。 【思考・判断・表現】 筆者の言葉と感覚との関係の捉え方を理解し、それを自分自身にも当てはめてその内容を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表を通して更に考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	単元 近代の詩 【知識及び技能】 短歌独自の表現の特徴と効果を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情景や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 最も印象に残った歌について文章にまとめ理解を深めようとしている。	・近代の詩「小諸なる古城のほとり」 ・観察・ワークシート・発表 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 短歌独自の表現の特徴と効果を理解し説明している。 【思考・判断・表現】 情景や心情を表現しているかを読み取り、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめ、歌の表現や解釈についての理解を深めようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1	
2 学期	単元 近代の小説2 【知識及び技能】 言葉の意味と働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心理状態を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えをまとめさらに深めようとする。	・小説「こころ」 ・観察・ワークシート・発表（一人1台端末の活用）	【知識及び技能】 言葉の意味と働きを理解している。作品の時代背景や作者の状況を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情を読み取って要約している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをまとめ話し合いにより考えを深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元 近代の小説2 【知識及び技能】 言葉の意味と働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心理状態を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えをまとめさらに深めようとする。	・小説「こころ」 ・観察・ワークシート・発表（一人1台端末の活用）	【知識及び技能】 言葉の意味と働きを理解している。作品の時代背景や作者の状況を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情を読み取って要約している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをまとめ話し合いにより考えを深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元 小説2 【知識及び技能】 語句の意味と働きを理解する。 作品の時代背景や当時の沖繩の状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情の変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の生死について自分の考えをまとめ考察を深めようとしている。	・小説「夏の花」 ・観察・ワークシート・発表（一人1台端末の活用）	【知識・技能】 指示された語句の意味と働きを理解し、更に自分の分からない語句を取り上げ意味や使われ方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情の変化を、状況の変化とともに読み取り、その根拠を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 登場人物の生き方や考えから、人間の生死について自分の考えをまとめ、考察を深めようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1 合計 70

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】言葉による見方、考え方を働かせ、効果的に表現する能力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
2年次の学習を踏まえ、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書					
1学期	単元 小説 【知識及び技能】 言葉の意味の働きと理解 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して自分のものの見方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 根拠を持って発表しようとしている。	・小説「檸檬」 ・観察・ワークシート・発表 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	15
			○	○	○	○	○	○	16
	単元 小説 【知識及び技能】 語句の意味、作者についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 文体の特徴を意識して朗読する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く文体の特徴を把握して朗読する。	・小説「葉桜と魔笛」 ・観察・ワークシート・発表 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	18
			○	○	○	○	○	○	20
2学期	単元 小説 【知識及び技能】 言葉の意味と働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の論理展開を考察し、筆者の主張を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 詩の特質について自分の考えをまとめ、	・小説「富嶽百景」 ・観察・ワークシート・発表 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	16
			○	○	○	○	○	○	18
3学期									
合計									
105									

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～8組
 教科担当者：
 使用教科書：（大修館書店『論理国語』）
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書					
1 学期	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。	具体と抽象を使いこなそう 突然変異と進化の関係	○	○	○	【知識・技能】 ・具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の關係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体と抽象の関係を的確にとらえながら、筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	9
	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。	量の時代から質の時代へ	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとらえようとしている。	○	○	○	9
	・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論理の展開や比喩的な表現の意図をとらえる。	根拠を吟味しよう ミロのヴィーナス	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。	○	○	○	9
	・論理的な文章を読み、その要旨を読み取る。	入試問題演習	○	○	○	【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、論理の展開を的確にとらえ、主張と根拠の關係について、理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、主張と根拠の關係について理解を深めようとしている。	○	○	○	9
定期考査						○	○	○	1	
2 学期	・主張と根拠の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。	要約の方法 文化としての科学	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主張と根拠の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	9
	・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかむ。	話し合って考えを深めよう 「である」ことと「する」こと	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	9

